第104期
業務報告書

2025年4月1日～2026年3月31日



青い海・みどりの山・大切な地元

新宮信用金庫

ごあいさつ

会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当金庫に対しまして格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに２０２５年度、第１０４期の決算につきましてご報告申し上げます。

昨年度のわが国経済は、金融市場では、日本銀行が２０２５年１２月に、政策金利を０.７５％に引き上げ、１９９５年以来３０年ぶりの金利水準に達することとなり、日本全体で緩やかな景気回復を維持してきました。

このような中、２０２５年１０月に高市政権が発足し、２０２５年１１月に【「強い経済」を実現する総合経済対策】を閣議決定・公表しております。これは「第１の柱：生活の安全保障・物価高への対応」、「第２の柱：危機管理投資・成長投資による「強い経済」の実現」、「第３の柱：防御力と外交力の強化」から構成され、これらの実現に向けた政策が今後、立案・実施されることが期待されます。

さらに金融庁は２０２５年１２月には新たに「地域金融力強化プラン」を公表しています。その概要は、人口減少・少子高齢化その他環境変化に直面する地域が持続的に発展を目指す中で、地域金融の地域経済に貢献する力（＝地域金融力）への期待は極めて強い。地域金融機関をはじめとする様々なプレイヤーが連携して地域金融力を発揮していくため、①地域企業の価値向上への貢献・地域課題の解決、②地域金融力発揮のための環境整備からなる地域金融力強化プランを強力に推進するとなっています。まさに我々の力の発揮するところとなっております。

当地方に本店を置く唯一の地域金融機関として、本年６月９日に金庫創立１０４周年を迎えることが出来ました。これもひとえに地域の皆様のご支援、ご愛顧の賜物と感謝し、その先の更なる１００年へ繋げてまいります。

「ひたむき・こだわる・正々堂々・礼儀正しい」を経営の原点とし、当金庫職員が一致団結し、地域のリーディング・カンパニーとして、地域経済や社会の持続的な発展に貢献していく所存でございます。

当金庫は、「中期３か年経営計画」に基づき、地域に対する責任と使命を自覚し、貸出金を中心とした確固たる収益基盤を確立するため、覚悟を持って自らを変革してまいります。

当地方の発展・成長のために、当金庫しかできない「地域貢献」があります。いつも地域の活性化のために役職員は何をなすべきかを常に考えて、特に創業・事業承継・経営支援に重点を置き、コンサルティング機能の向上に力を入れてまいります。

２０２４年度よりスタートした『中期３か年経営計画　～革新と変革の軌跡　中期計画が描く未来の姿～』のもと、「持続的な収益・財務基盤の確立」「組織改革・意識改革の実現」「ＤＸ推進」「地域的・社会的課題への対応」を４つの柱として、当金庫がこれまで以上に地域での存在感を高めていくことを目指し役職員が一丸となって努めた結果、預金１,１２５億円、貸出金５０５億円、当期純利益１１８百万円、自己資本比率２４.７４％、不良債権比率４.３０％と健全性を維持することができました。これもひとえに会員ならびにお取引先各位のご支援、ご愛顧の賜物と厚く感謝申し上げます。

当金庫は、コンプライアンス態勢の一層の充実強化を図り、地域・規模・特性等を踏まえた統合的リスク管理態勢（内部統制の構築）の強化を推進し、地域になくてはならない地域金融機関として、役職員一同が邁進していく所存でございますので、今後とも一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

２０２６年６月

新宮信用金庫
理事長　横田　勝之

経営理念

地元の発展のために、よい企業、よい家庭、よい社会の建設に金庫の力を結集しましょう。

地元の繁栄を願い、常に地元とともに共存共栄の精神で、地元の人達の事業や生活の繁栄のために、地域金融機関としてその使命に徹し、役立てられるよう努力いたします。

私たちの綱領

1．私たちは、地元のみなさまにより、つくられ育てられたあなたたちの金融機関です。

2．私たちは、地元のみなさまへの奉仕と、地元発展へのお手伝いを最大の念願としています。

3．私たちは、お客さま、あなたのご満足をもって、すべての喜びといたします。

4．私たちは、あなたのご商売の後ろ盾となれるよう、どこまでも大きく育ちたいと思います。

5．私たちは、あなたのお台所のどんな零細なご用にも役立ちたいと思います。

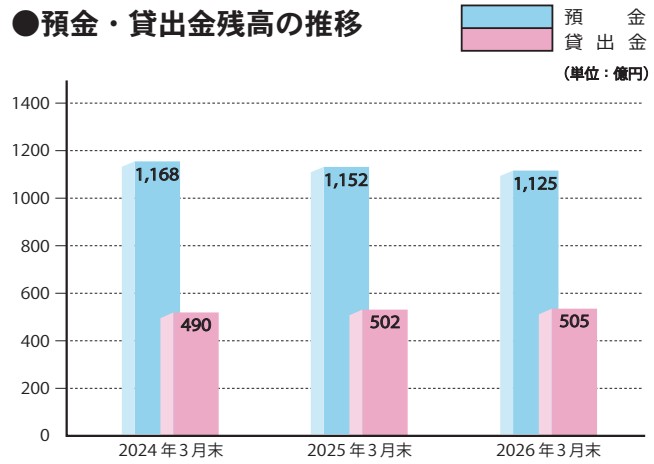
6．私たちは、地元のみなさま方、みんなから愛され、導かれる金融機関でありますよう、どこまでも努めます。

当金庫の概要（2026年3月末現在）

名　称	新宮信用金庫
所在地	〒647-0004 和歌山県新宮市大橋通３丁目１番地の４ ＴＥＬ ０７３５－２２－２０００
設　立	１９２２年６月９日
出資金	２億４,８７５万円
会員数	７,６９２人
職員数	６７人
店舗数	８店舗

事業の概要

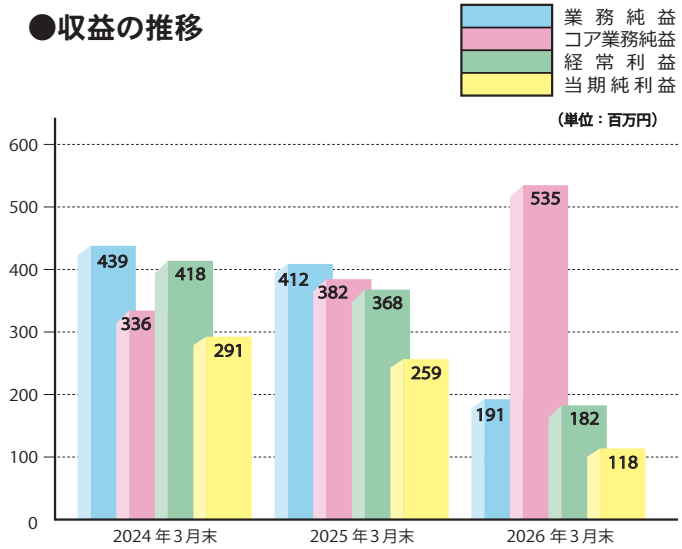
●預金・貸出金残高の推移



■預金と貸出金の状況

預金については、2026年3月末・1,125億円と前年度に比べ27億円減少しました。
貸出金については、2026年3月末・505億円と前年度に比べ3億円増加しました。

●収益の推移



■収益の状況

本業の収益であるコア業務純益は535百万円（対前期比＋39%）となりました。
しかし、市場金利が上昇傾向にある中、有価証券における評価損の処理を積極的に押し進めたことで、
業務純益は191百万円（対前期比△53%）に減少、また各種償却・引当金の繰入などを行った結果、
経常利益は182百万円（対前期比△50%）、当期純利益は118百万円（対前期比△54%）の計上となりました。

※コア業務純益

「コア業務純益」とは、貸出業務など金融機関の本来の収益力をあらわすもので、本業の儲けを示す「業務純益」から、国債の売買など一時的な要因を除いたものです。

●信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

（単位：百万円）

区　　分	2026年3月末
●破綻更生債権及びこれらに準ずる債権	329
●危険債権	1,556
●要管理債権	292
三月以上延滞債権	―
貸出条件緩和債権	292
小　　計①	**2,179**
うち担保・保証額②	**1,597**
うち貸倒引当金繰入額③	**237**
保全率（②+③／①）	**84.22%**

当金庫の2026年３月末の開示債権は2,179百万円・・・①
このうち不動産・預金担保・保証協会等の担保・保証額で1,597百万円・・・②
さらに237百万円を引当処理（貸倒引当金繰入＝事前の手当て）・・・③
しており、保全率（カバー率）は84.22%に達しており、不良債権への対応に万全を期しています。

●有価証券の時価情報

（単位：百万円）

	種　類	貸借対照表計上額	取得原価	差　額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	178	121	57
	債券	4,261	4,230	31
	国債	1,724	1,699	24
	地方債	609	607	2
	社債	1,927	1,923	4
	その他	2,742	2,028	713
	小　計	7,182	6,380	801
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	54	66	△ 12
	債券	29,882	37,585	△ 7,703
	国債	8,257	10,657	△ 2,400
	地方債	12,601	16,291	△ 3,690
	社債	9,023	10,635	△ 1,612
	その他	9,400	10,228	△ 827
	小　計	39,337	47,880	△ 8,543
合　　計		**46,519**	**54,261**	**△ 7,741**

（2026年３月末）

注１．貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
　２．上記の「その他」は、外国証券および投資信託等です。
　３．市場価格のない株式は、本表には含めておりません。

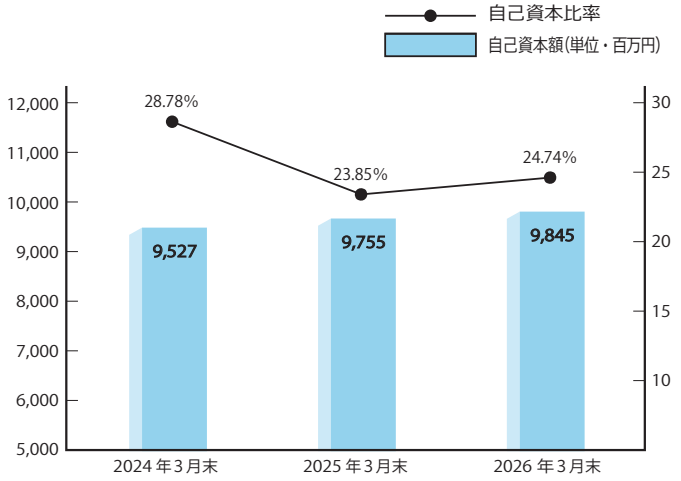
●自己資本比率（国内基準）の推移

（単位：百万円）

項　　目	2026年3月末
コア資本に係る基礎項目	
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	9,862
うち、出資金及び資本剰余金の額	248
うち、利益剰余金の額	9,632
うち、外部流出予定額（△）	7
うち、上記以外に該当するものの額	△11
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	29
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	29
コア資本に係る基礎項目の額　（イ）	9,891
コア資本に係る調整項目	
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	25
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	25
前払年金費用の額	20
コア資本に係る調整項目の額　（ロ）	46
自己資本	
自己資本の額（（イ）－（ロ））　（ハ）	9,845
リスク・アセット等	
信用リスク・アセットの額の合計額	31,788
資本（オン・バランス）項目	31,639
オフ・バランス取引等項目	149
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	5,344
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	2,649
リスク・アセット等の額の合計額　（ニ）	39,782
自己資本比率	
自己資本比率（（ハ）／（ニ））	24.74%

■自己資本比率について

金融機関の健全性を判断する大変重要な指標が「自己資本比率」です。当金庫の自己資本比率は、2026年３月末で24.74％と高く、国内基準の４％を大きく上回り健全な経営を行っています。



庶務の概要

通常総代会

2025年6月23日開催の第103期通常総代会において、次の事項が付議され、それぞれ原案どおり承認可決されました。

第１号議案　第103期(2024年度)剰余金処分案承認の件
第２号議案　任期満了に伴う理事９名選任の件
第３号議案　監事１名選任の件
第４号議案　退任理事・監事に対する退任慰労金贈呈の件

出資会員の皆様へ

出資証券における諸手続きについて

①住所・氏名等の変更について

出資証券、変更内容が確認できる書類、および届出印をご用意いただき、金庫所定の「届出事項変更届」に必要事項を記入の上、当金庫窓口へご提出ください。

②会員の方が死亡された場合について

脱退手続きが必要となりますので、相続人を代表する方は当金庫窓口へご相談ください。

なお、相続人が出資証券を譲受することも可能ですが、一定の条件が必要な場合もあり、認められない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

③会員の脱退について

出資証券、届出印、本人確認書類をご用意いただき、当金庫窓口へご相談ください。

なお、出資証券の払戻しまで、しばらくお時間をいただく場合もありますので、あらかじめご了承ください。

その他出資金、配当金に関するお問い合わせは、当金庫各店舗へお問い合わせください。

●復興特別所得税について

２０１３年（平成２５年）から２０３７年（令和１９年）まで、出資配当金にかかる所得税（２０％）に対しては、復興特別所得税（所得税額２０％×２.１％＝０.４２％）が付加されております。

第104期 貸借対照表

2026年3月31日現在　　（単位：百万円）

（資産の部）	金額
現金	**2,820**
預け金	**13,465**
有価証券	**46,524**
国債	9,981
地方債	13,211
社債	10,950
株式	237
その他の証券	12,143
貸出金	**50,547**
割引手形	8
手形貸付	1,158
証書貸付	48,117
当座貸越	1,262
その他資産	**884**
未決済為替貸	9
信金中金出資金	649
未収収益	197
その他の資産	26
有形固定資産	**894**
建物	454
土地	281
その他の有形固定資産	158
無形固定資産	**25**
ソフトウェア	23
その他の無形固定資産	1
前払年金費用	**20**
繰延税金資産	**2,288**
債務保証見返	**5**
貸倒引当金	**△ 359**
（うち個別貸倒引当金）	（△ 330）
資産の部合計	**117,116**

注1．記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

（単位：百万円）

（負債の部）	金額
預金積金	112,528
当座預金	1,817
普通預金	66,303
貯蓄預金	25
定期預金	40,279
定期積金	3,410
その他の預金	693
その他負債	135
未決済為替借	14
未払費用	76
給付補填備金	1
未払法人税等	9
前受収益	7
払戻未済金	2
その他の負債	22
賞与引当金	23
役員退職慰労引当金	92
偶発損失引当金	3
睡眠預金払戻損失引当金	2
債務保証	5
負債の部合計	112,791
（純資産の部）	
出資金	248
普通出資金	248
利益剰余金	9,632
利益準備金	251
その他利益剰余金	9,380
特別積立金	9,120
当期未処分剰余金	260
処分未済持分	△11
会員勘定合計	9,869
その他有価証券評価差額金	△5,544
評価・換算差額等合計	△5,544
純資産の部合計	4,324
負債及び純資産の部合計	117,116

第104期 損益計算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで　　（単位：千円）

科目	金額	
経常収益		**1,975,846**
資金運用収益	**1,785,801**	
貸出金利息	949,169	
預け金利息	74,145	
有価証券利息配当金	748,091	
その他の受入利息	14,395	
役務取引等収益	**143,728**	
受入為替手数料	59,839	
その他の役務収益	83,889	
その他業務収益	**631**	
その他の業務収益	631	
その他経常収益	**45,684**	
株式等売却益	24,743	
その他の経常収益	20,940	
経常費用		**1,793,104**
資金調達費用	**143,779**	
預金利息	141,705	
給付補填備金繰入額	2,073	
役務取引等費用	**132,580**	
支払為替手数料	11,435	
その他の役務費用	121,145	
その他業務費用	**349,229**	
国債等債券売却損	349,072	
その他の業務費用	157	
経費	**1,147,441**	
人件費	621,424	
物件費	476,010	
税金	50,007	
その他経常費用	**20,074**	
貸倒引当金繰入額	16,465	
株式等売却損	2,485	
その他の経常費用	1,122	
経常利益		**182,741**
特別損失		**3,055**
固定資産処分損	3,055	
税引前当期純利益		**179,685**
法人税、住民税及び事業税	**23,654**	
法人税等調整額	**37,160**	
法人税等合計		**60,815**
当期純利益		**118,870**
繰越金（当期首残高）		**141,823**
当期未処分剰余金		**260,693**

注1．記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。
　2．出資1口当たり当期純利益金額２４円７３銭

第104期 剰余金処分計算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

科目	金額
当期未処分剰余金	**260,693,893円**
繰越金（当期首残高）	141,823,819円
当期純利益	118,870,074円
利益準備金取崩額	**2,850,900円**

これを次の通り処分いたします。

剰余金処分額	**117,162,074円**
普通出資に対する配当金（年3%）	7,162,074円
特別積立金	110,000,000円
繰越金（当期末残高）	**146,382,719円**

以上の通りであります。

２０２６年６月

新宮信用金庫

会　　長　浦木　睦雄
理事長　横田　勝之
専務理事　和平　幸勝
常勤理事　南　聖
〃　口地　耕司
〃　横川　英之
〃　佐武　紀明
理　　事　関　康之
〃　植松　浩

上記各項を監査の結果、
正確なることを認めます。

２０２６年６月

常勤監事　尾﨑　直也
非常勤監事　下野　義邦
員外監事　尾﨑　能彦

※貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分計算書は、信用金庫法第３８条の２第３項の規定に基づき、五十鈴監査法人の会計監査を受けております。

地域とともに歩み続ける・・・

どこまでも、どんなときも、
地域とともに歩み続けること。
それは私たちしんぐう信金の
変わらぬ姿勢です。
これからもしんぐう信金は、
この街と生きていきます。



店舗一覧

店舗名	所在地	電話番号
本店営業部	〒647-0004　新宮市大橋通３丁目１番地の４	0735-22-6191
徐福支店	〒647-0004　新宮市大橋通３丁目１番地の４	0735-21-6263
勝浦支店	〒649-5332　東牟婁郡那智勝浦町朝日２丁目165番地の3	0735-52-0123
佐野支店	〒647-0071　新宮市佐野１丁目２番21号	0735-31-7055
御浜支店	〒519-5204　南牟婁郡御浜町阿田和4265番地	05979-2-2010
熊野支店	〒519-4324　熊野市井戸町385番地の１	0597-89-1500
十津川支店	〒637-1554　吉野郡十津川村平谷455番地	0746-64-0311
緑ヶ丘支店	〒647-0043　新宮市緑ヶ丘１丁目８番35号	0735-21-6110

ＵＲＬ:https://www.shinkin.co.jp/shingu

店外ATMコーナー

徐福出張所	新宮市蓬莱2丁目1番5号
主婦の店パシフィックマーケット出張所	南牟婁郡紀宝町鵜殿1712番地の1
スーパーセンターオークワ南紀店出張所	新宮市佐野３丁目11番19号
イオン新宮店出張所	新宮市橋本2丁目14番23号